

決算レポート

2023年6月期 第2四半期

オルバヘルスケアホールディングス株式会社

(証券コード：2689)

Contents

- 商号変更と企業理念
- 2023年6月期 第2四半期業績概要
- 2023年6月期 業績予想及び配当の基本方針
- 中期経営計画 概要
- 参考資料

商号変更と企業理念



OLBA
HEALTHCARE

つなぐ、人と未来。

商号変更

2021年1月1日、株式会社カワニシホールディングスは、

 **オルバヘルスケアホールディングス**株式会社 へ商号変更いたしました



OLBAとは

当社グループのさらなる発展をめざし

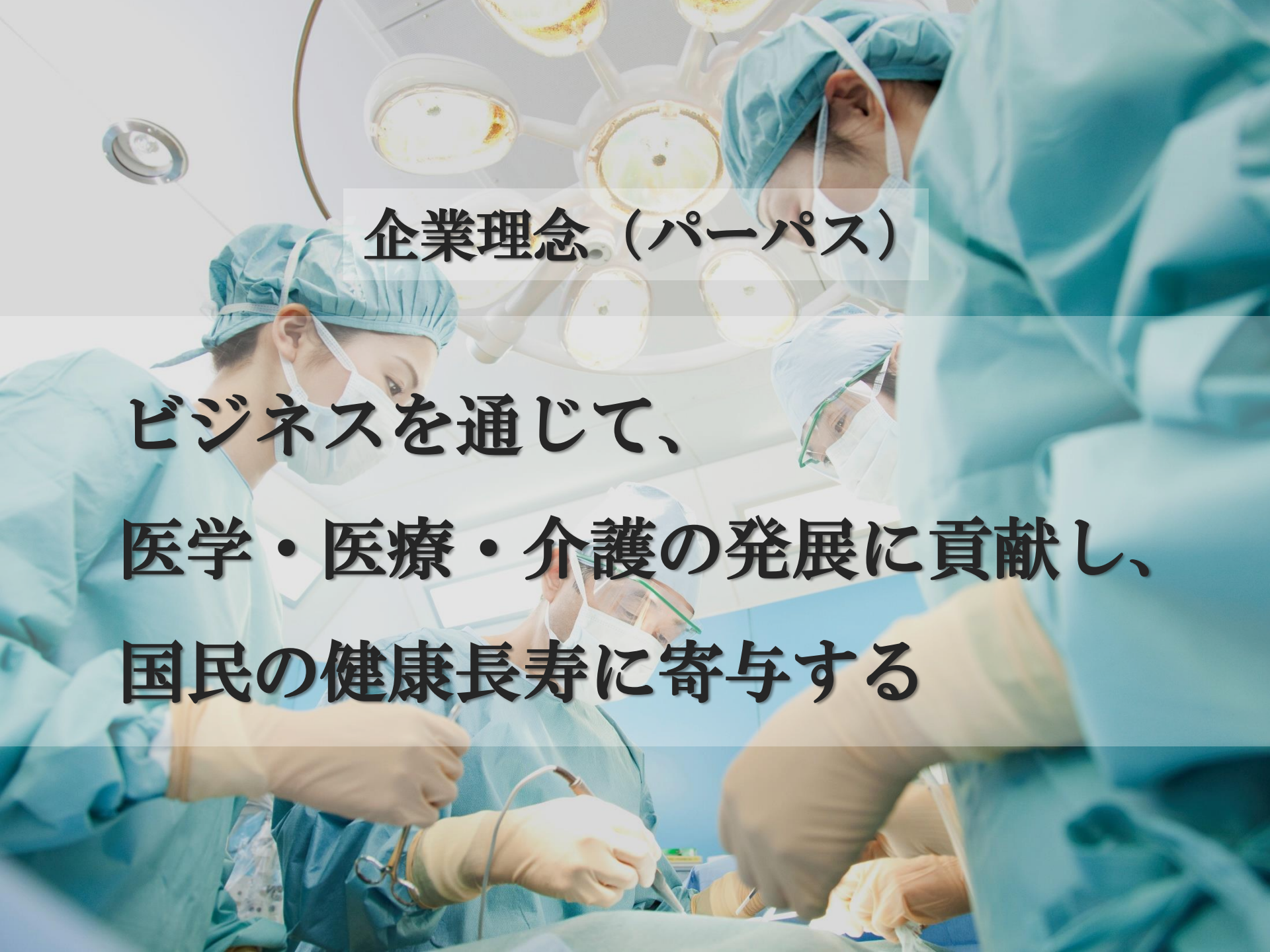
オーバル（OVAL）

ひとつにつながった楕円形

オービット（ORBIT）

軌道

～ 地域のヘルスケアにおいて、
人と技術がつながりひとつの円になる未来をめざし、
グループの軌道を示す ～

A photograph of several surgeons in an operating room, wearing blue scrubs, masks, and caps, focused on a surgical procedure under bright overhead lights. The image has a blue tint and is used as a background for the text.

企業理念（パーパス）

ビジネスを通じて、
医学・医療・介護の発展に貢献し、
国民の健康長寿に寄与する

SDGs（持続可能な開発目標）

OLBAグループ 6つの重点目標



2030年までに世界の国々が
達成すべき17の開発目標（国連）



つなぐ、人と未来 connecting us to the future



ミッション



先端医療機器
開発/導入



違いを認め
尊重する



医療・介護を
止めない



能力を発揮
できる
環境づくり



医工連携
パートナー
シップ強化

CSRの取り組み 地域に根差した社会貢献

地域のみなさまとともに歩み、地域の発展・活性化につながる未来を

ファジアーノ岡山 クラブスポンサー

2006年設立 岡山県初のプロサッカークラブ
2009年より J2 リーグ 参入



岡山テックプランター パートナー企業

岡山発の技術をベースに新規事業創出と
ベンチャー育成・支援



岡山リベッツ チームスポンサー

2018年設立の男子卓球チーム
全国リーグ「Tリーグ」に参戦



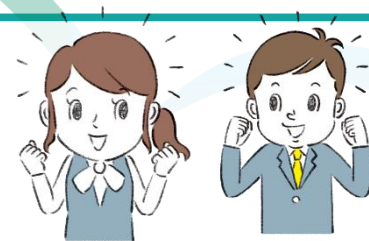
大原美術館 オフィシャルパートナー



岡山県倉敷市に昭和5年設立
日本初の西洋美術中心の私立美術館

ESG基本方針の策定

社員憲章に基づき、ESG基本方針を策定



Environment（環境）

- ・ 環境負荷低減と環境保全に配慮し、持続可能な社会の実現を目指す
⇒ 温室効果ガス排出量・エネルギー使用量を集計し、環境負荷低減の取り組みを開始

Social（社会）

- ・ 人材ならびに働き方の多様性を目指すとともに、社員が健康でいきいきと働き続けられるよう、働き方改革を推進

Governance（ガバナンス）

- ・ 株主の負託に応え、社員、顧客、取引先、地域住民への責任を果たす
- ・ 経営の透明性、効率性、健全性を確保
- ・ グループの持株会社として、グループの価値向上の実現を図る

ESGへの取り組み (S: Society)

健康経営への取り組み

- 健康経営優良法人2022の認定
- 就業時間内禁煙 & 禁煙サポート (2019年7月～)



働き方改革

- フレックスタイム、在宅勤務の導入 ⇒ 働きやすい環境整備
- “さんづけ”運動の開始 ⇒ ジェンダー平等、フラットな組織風土
- 副業制度の開始 ⇒ 多様な働き方の選択肢

社会のための取り組み

安全かつ質の高い医療・介護機器、サービスの提供

- 医療機器の安定供給
- 自然災害・パンデミックへの対応
- 顧客の課題解決に貢献できる人材の育成



人材教育への取り組みの継続・重視

■ 体系的な人材育成・専門性の習得

30年の歴史を持つ社内教育制度「**OLBA Academy**」

社員のステージに合わせ、学びの機会を設定

- ・社員エンゲージメント向上
- ・競争優位の源泉



専門性・マネジメント力の構築
e-Learning講座も順次拡充

2023年6月期 第2四半期業績概要



OLBA
HEALTHCARE
つなぐ、人と未来。

2023年6月期第2四半期 連結業績

中間決算では売上高、利益とも過去最高

	百万円	予算比	前期比
売上高	53,718	△0.5%	+1.3%
売上総利益	6,182	△0.1%	+4.6%
売上総利益率	11.51%		
販売管理費	5,328	△2.0%	+4.0%
営業利益	854	+13.3%	+8.6%
経常利益	859	+14.1%	+7.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	547	+12.5%	+2.8%

1株当たり四半期純利益
91.09円

新型コロナウイルス感染症・インフレ・円安の影響

■ 手術件数はおおむねコロナ前の水準まで回復

2021年秋ごろより回復。整形・循環器の手術増加し消耗品売上高増加

■ 感染防止関連製品・検査試薬は売上高ピークを越す

PPE（個人用感染防護具）、PCRキット

■ 世界的なインフレ・円安で仕入価格上昇

海外製品が多い医療機器の価格は上昇傾向

営業活動拡大や仕入改善等の対策を実施

手術件数はコロナ前まで回復
消耗品売上高増加

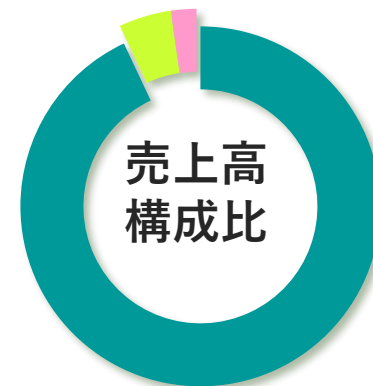


PPE（ガウン・マスク・フェイスシールド・手袋）

医療現場のトータルパートナー

百万円	実績	予算比	前期比
売上高 ※1	50,694	△2.3%	+1.0%
営業利益	735	+8.7%	+2.1%

医療器材〔93.0%〕



百万円	売上高実績 ※2	前期比
カワニシ	34,170	+0.6%
サンセイ医機	11,800	△4.7%
日光医科器械	5,121	+1.0%

※1 売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む

※2 個別会社の売上高実績は、グループ会社間の取引金額を含む

医療器材事業 消耗品

売上高 453億円 前期比 4.0%増

単位：百万円

商品分類	売上高	前期比	サブセグメントのポイント
手術関連消耗品	23,320	+2.7%	外科+6.6%、内科+18.7%、麻酔+4.0%、 理化学+11.4%、眼科+1.8%、マスク等*+4.7%
整形外科消耗品	12,135	+7.7%	脊椎+7.2%、外傷・スポーツ・関節鏡+4.3%、 人工関節+9.3%
循環器消耗品	9,928	+2.7%	カテーテルABL*+7.6%、不整脈治療デバイス*△5.7% 虚血性心疾患治療+1.7%

* 1 マスク等：マスク・ガウン・フェイスシールド・手袋等の個人用防護具、感染対策商品

* 2 ABL：心房細動などの頻脈に対して心臓の一部をカテーテルを用いて焼灼または冷凍処置する治療

* 3 不整脈治療デバイス：ペースメーカーや植込み型除細動器等



超音波メス

ジョンソン・エンド・ジョンソン
ホームページ (<https://www.jnj.co.jp/>) より



人工膝関節

ジンマーバイオメット ホームページ
(<https://www.zimmerbiomet.com/ja>) より



ペースメーカー

メドトロニック ホームページ
(<http://www.medtronic.com/>) より

※売上高(前期比含む)は新収益認識基準適用前の管理会計に基づく集計値

©OLBA HEALTHCARE HOLDINGS, Inc.

医療器材事業 設備備品

売上高 58億円 前期比 **23.3%減**



設備備品売上のポイント

- ◆ 今期は医療機関新築・移転案件少なく反動減
- ◆ 設備備品案件の発掘に注力

- ・ 人工呼吸器
- ・ ECMO
- ・ 手術用顕微鏡
- ・ 超音波診断装置
- ・ 自動検温装置
- ・ 個人用透析装置
- ・ 膝関節手術支援ロボット



経皮的心肺補助
システム ECMO*

テルモ ホームページ
(<https://www.terumo.co.jp>) より



人工呼吸器

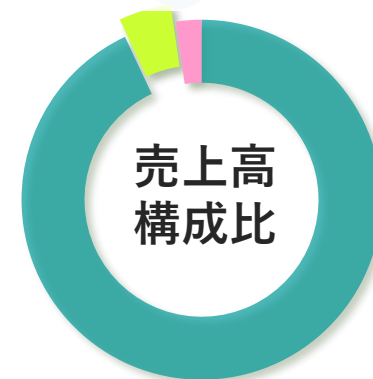
Philips ホームページ
(<https://www.philips.co.jp/healthcare>) より

*1 ECMO：血液の体外循環による呼吸治療装置

百万円	実績	予算比	前期比
売上高	2,566	△24.2%	+10.4%
営業利益	97	+16.8%	+59.2%

- ◆ 感染対策製品の需要継続
- ◆ 物品管理サービス料金の見直し
- ◆ 消耗品の仕入改善
- ◆ メーカーとの協力体制強化

SPD〔4.7%〕



契約総数

直接 70件

FC 3件



物品管理



情報管理



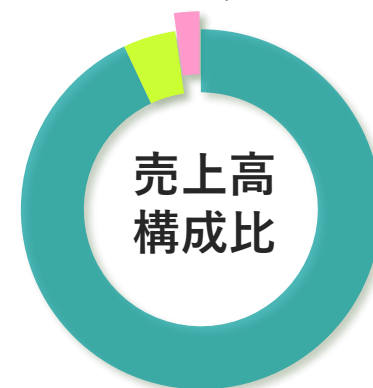
購買管理

※売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む¹⁸

百万円	実績	予算比	前期比
売上高	1,246	+0.7%	+5.1%
営業利益	91	+6.7%	+8.1%

- ◆ コロナ影響による在宅医療・居宅介護需要の継続
- ◆ 主力の介護用品レンタルは前年同期比5.2%増
- ◆ レンタルの利益率改善

介護用品〔2.3%〕



レンタル



販売



リフォーム

※売上高(予算比・前期比含む)はセグメント間内部売上高含む ¹⁹

2023年6月期業績予想 及び配当の基本方針



OLBA
HEALTHCARE
つなぐ、人と未来。

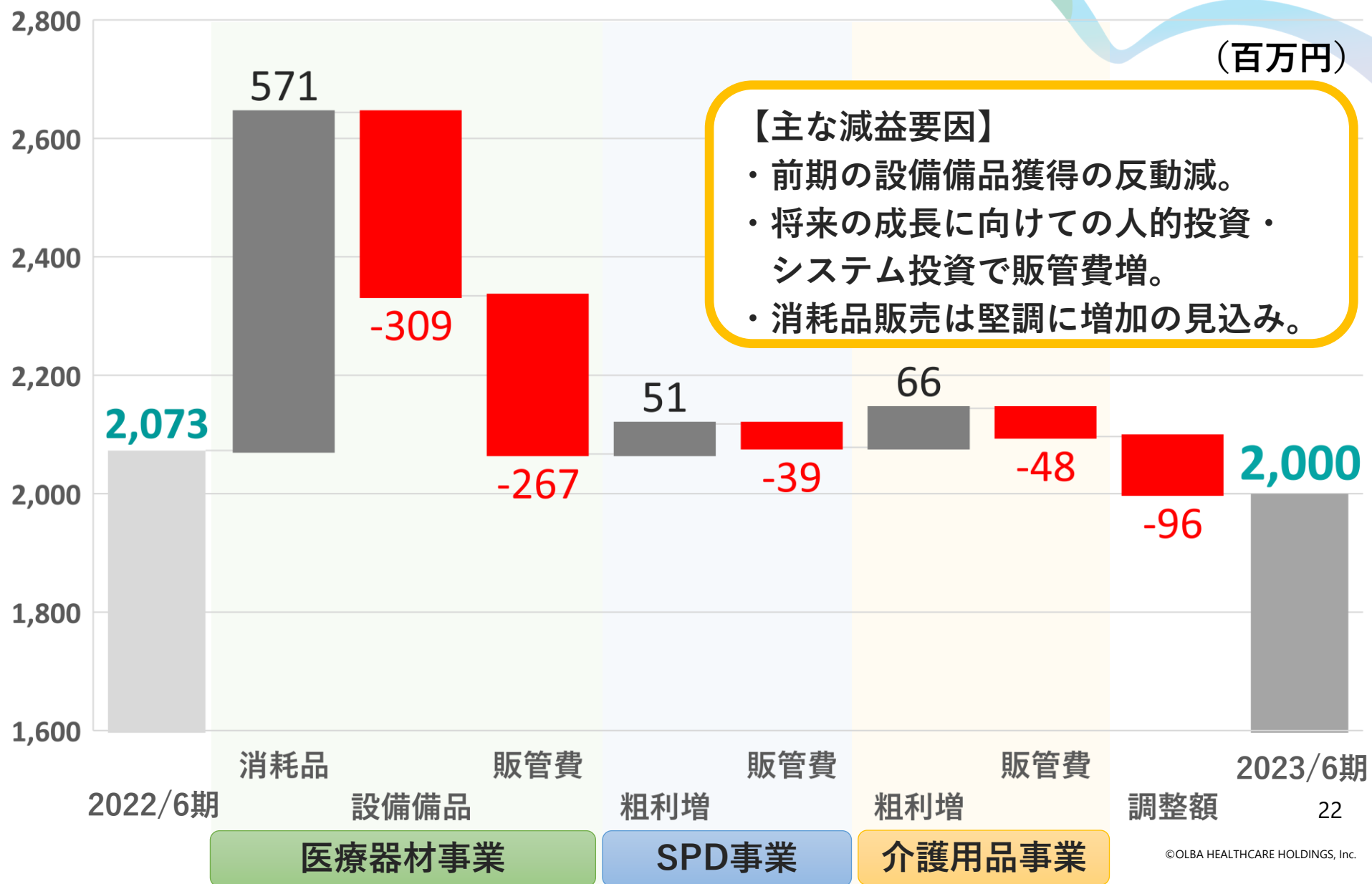
2023年6月期 通期連結業績予想

売上高は過去最高となる予想

(百万円)	予想	2022/6実績	増減
売上高	109,479	107,959	+1.4%
売上総利益	12,937	12,503	+3.5%
売上総利益率	11.82%	11.58%	+0.24
販売管理費	10,937	10,430	+4.9%
営業利益	2,000	2,073	△3.5%
経常利益	1,998	2,119	△5.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,309	1,535	△14.7%

1株当たり当期純利益
215.27円

2023年6月期 営業利益増減要因

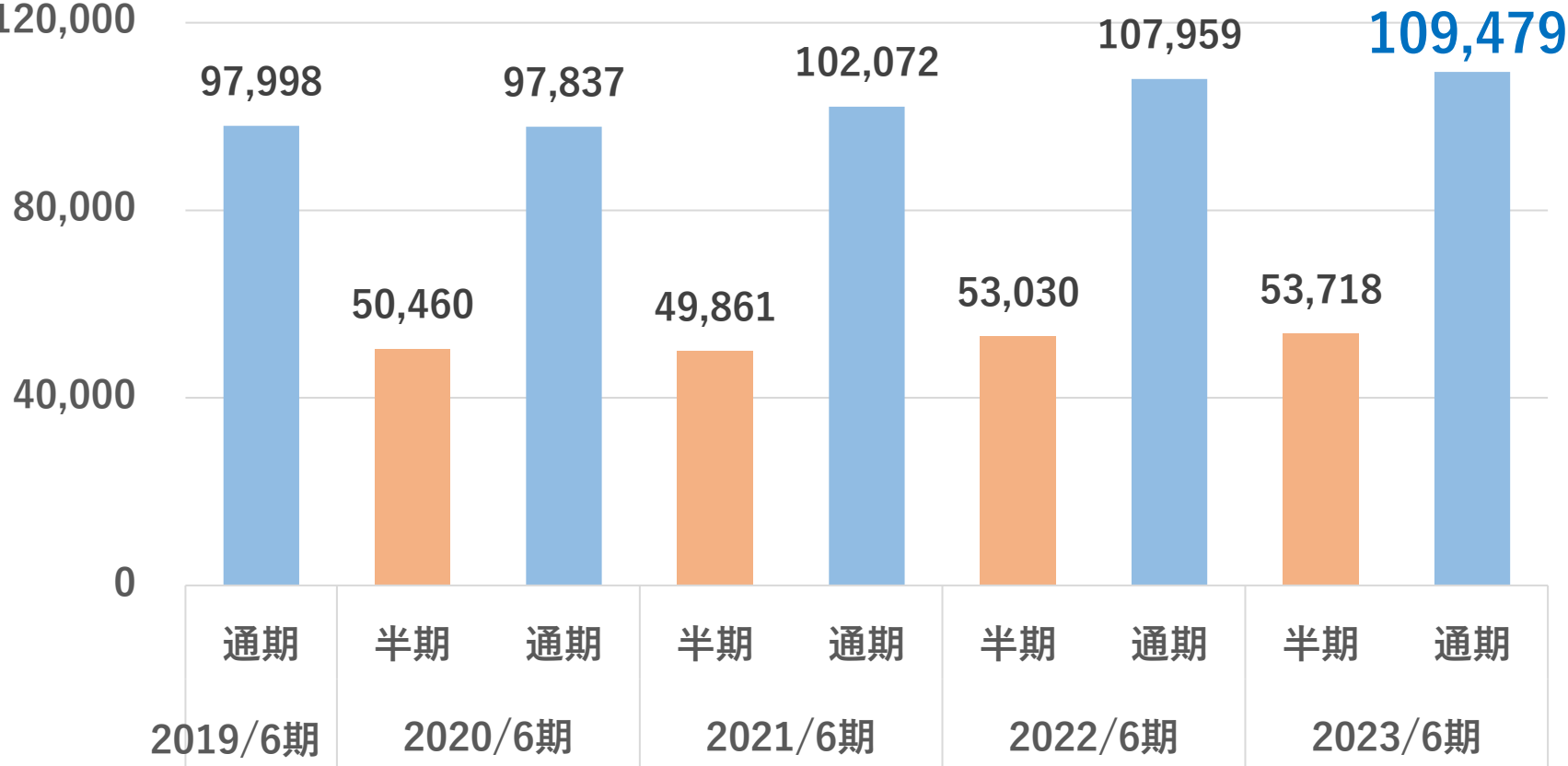


連結業績推移【売上高】

2023年6月期 **1,094億円**の予想
(前期比1.4%増)

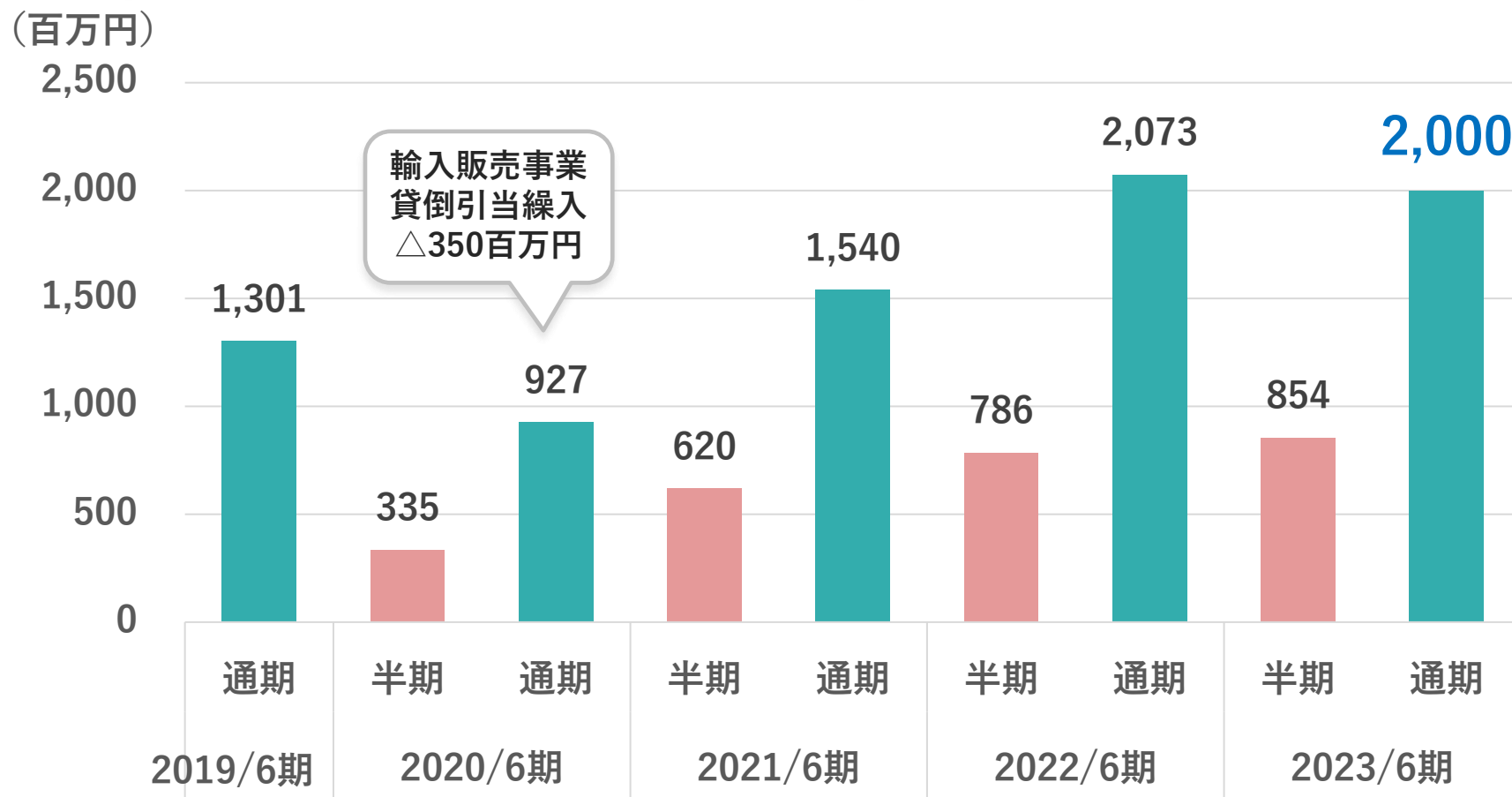
過去最高の予想

(百万円)
120,000



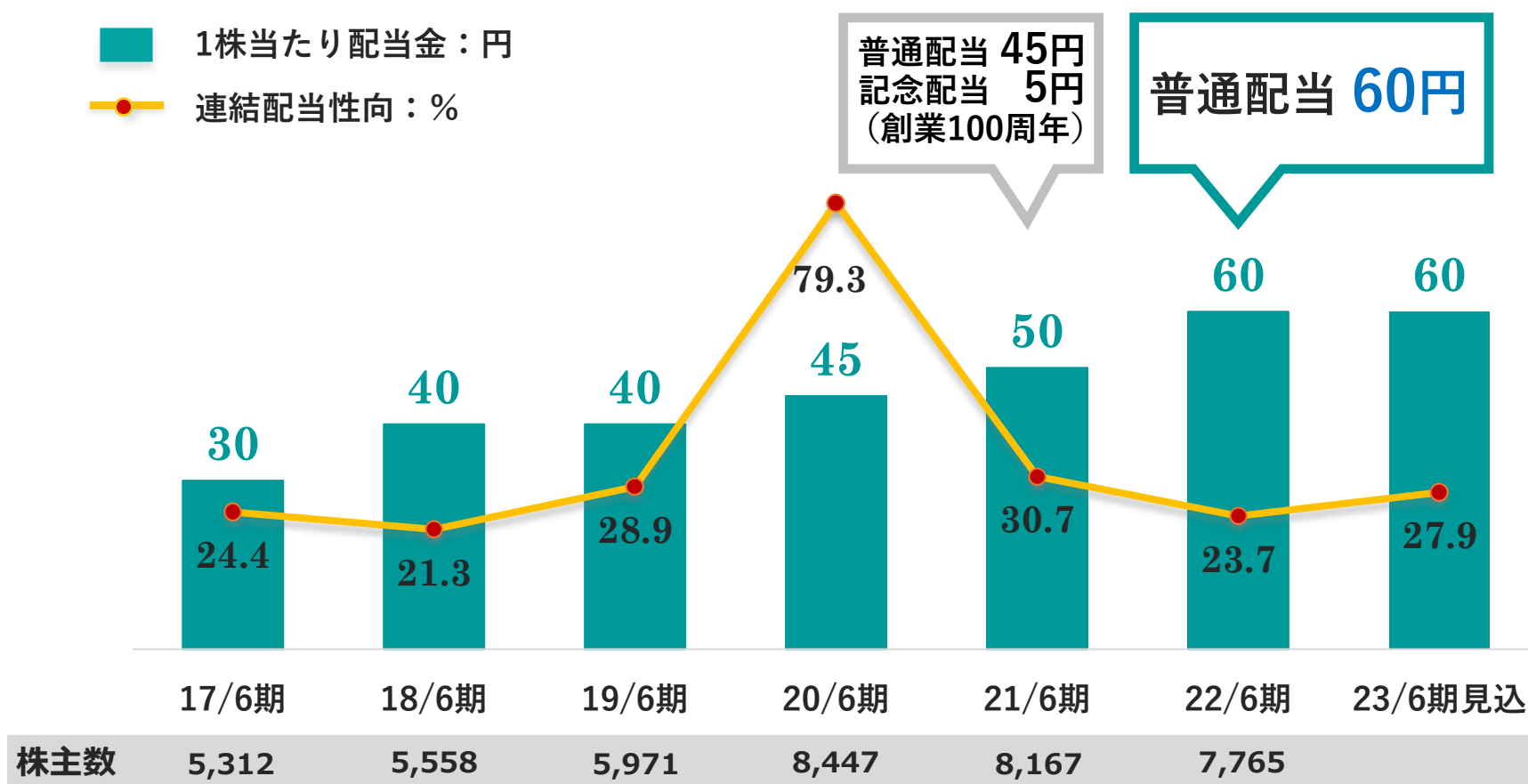
連結業績推移【営業利益】

2023年6月期 **20億円**の予想
(前期比3.5%減)



配当の基本方針

- ① 安定的な配当を継続します
- ② 成長投資に備え内部留保に努めます



中期経営計画 概要



OLBA
HEALTHCARE

つなぐ、人と未来。

中期経営計画

2023/6期～2025/6期 中期経営計画のポイント

現業強化・生産性向上

医療器材事業の
仕入交渉力強化

バックオフィス業務の
合理化・効率化

整形外科関連業務の
プロセス再構築

ロジスティクス・イノベーション

新地域・新顧客開拓

SDGs推進・ESG経営

環境負荷の低減

働き方改革

ダイバーシティ促進

健康経営

コンプライアンス徹底

次の100年に
向けた
基盤づくり

社員憲章の共有による
一体感・事業への共感

新規事業探索

ASEANリサーチ

バークメド事業拡大

医工連携

新ビジネス開発

ICT製品販売

OLBA-DX

CRM/SFA/BI構築

開発・活用の民主化
(ローコード・ノーコード)

営業活動のDX
(オンライン営業 &
インサイドセールス)

Webオーダー開発

電子カタログ機能充実

WMS導入

RFID活用

2025/6 期目標

売上高 **1200** 億円

営業利益 **25** 億円

OLBA-DX DX推進室による改革

Webオーダーアプリ開発

新たな
価値提供

物流統合システム稼働

CRM
構築

定型業務
効率化

名刺管理システム導入

RPA活用拡大

システムの
民主化

DX人材
の育成

ノーコードツール活用

各事業会社に推進担当

DXへの取り組み① アプリ/システム開発



自社Webオーダーアプリの開発

▼症例確認による**Dr待ち**や**面談時間**を効率化

現状	営業1人	新規・シェアUP	
1 (日)	1hr		
1 (週)	5hr		
1 (月)	20hr		

2022年8月プロトタイプ完成
システムベンダーと開発中

【Drが簡単に…】 【予定や履歴が関係者で…】



オンライン立会システムの開発

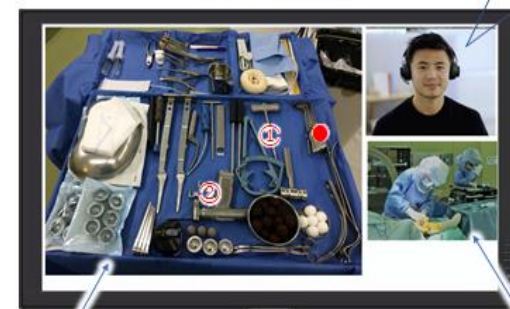
▼器械説明による**Dr・ナース待ち**や**説明時間**を効率化

NTT東日本と協業予定
メーカー連携も推進



ホスト (病院側)

①と②を用意して 赤丸のポインターで示したものと組み合わせてください!



器械台像

術野全体像

入力画像2つ



GoPro



4Kカメラ

DXへの取り組み② 独自電子カタログ

● 独自電子カタログ「MedTag」の活用



- 顧客が求める情報を素早く、確実に提供
- 全医療器材約85万件のうち45万件を掲載
(通常流通している商品をほぼ網羅)
- 独自のタグ付けにより多様な検索に対応



SFAツールやCRM等の機能も随時追加

医療機関への提供も検討中 (e-コマースへの布石) 30

DXへの取り組み③ 物流改革

● 物流統合システム「Li-Flo」の開発

2022年9月より事業会社のカワニシの拠点から順次稼働



在庫管理強化

- ・ 荷姿の管理
- ・ 簡便な倉庫移動

品質管理強化

- ・ 使用期限管理
- ・ サンプル品等の管理

貸出業務効率化

- ・ ハンディで使用売上
- ・ 短時間社外棚卸

【カワニシ福山営業所での導入効果】

- ・ バーコード読取による商品ピックの効率化
- ・ システム連携による納品書出力の効率化
- ・ 棚卸時間の削減



新規事業 ~クリニックビジネス~



2019年7月設立

(株) カワニシバークメド

通期黒字化を達成 (2022年6月完全子会社化)

非接触
会計
自動精算

デジタル
サイネージ

ICT・
DX化支援

●自動精算機 テマサック Pro

- 非接触 (感染対策)
- 待ち時間短縮
- 人手不足の解消
- キャッシュレス決済に対応
- レジ締め時間の削減

「IT補助金が使える医療用自動精算機」

とくにコロナに立ち向かう
てまさく



累計導入台数 177台

関東圏を中心に34都道府県の販売実績
(2022年12月末時点)

新規事業 ～クリニックビジネス～

ともにコロナに立ち向かう



テマサック

環境変化・ニーズの変化に順応・進化していく精算機

※ キャッシュレス対応はもちろん、1円・5円硬貨、5千円札含め全金種に対応
業界初のキャッシュレス専用セルフレジもラインナップ

豊富なカラーバリエーション

2-tone color



ブラック×ブルー



ブラック×レッド



ブラック×ブラウン



ブラック×ゴールド



ブラック×シルバー



ブラック×ホワイト



シルバー×ホワイト

全国での販売実績

- 累計導入177台のうち約30%が東京
関東地方が約50%を占める
- 岡山・東京に続き、
名古屋・大阪でも販売拠点開設予定

テマサック YouTube
紹介動画はこちら



※クリニックの会計ソフトと連携可能なキャッシュレス専用セルフレジ

YouTube動画 <https://www.youtube.com/watch?v=k2O9vWigJlk>

DVx社との業務提携に向けて

DVx社と業務提携に関する基本合意を締結

次なる100年に向け、同社との協力関係構築のため協議を開始

業務提携の相手先

- ・ ディービーエックス株式会社（証券コード：3079 売上高454億円）
 - ・ 循環器領域が主力の医療機器製造・販売商社
 - ・ 関東を中心に全国に営業所を展開

大都市圏への展開

業務提携の検討内容等

- ・ 購買、物流の合理化によるコストの低減
- ・ 販売連携による売上拡大と収益率の改善
- ・ 医工連携におけるニーズ、シーズの情報交換
- ・ 情報システムの運用、共同利用によるDX推進



※詳細は、2022年10月17日公表の『ディービーエックス株式会社との業務提携に関する基本合意のお知らせ』をご覧ください。上記売上高は2022年3月期。



タイオルバヘルスケア設立

合併会社設立（2023年1月26日）

タイの医療機器輸入販売会社タイオルバヘルスケアに出資・事業開始

【2023年1月26日設立記念式典 バンコク】

タイ王国進出の理由

- ・ ASEAN地域の経済的・地理的ハブ機能
- ・ 今後急速な高齢化を見込む
- ・ タイ王国政府が医療産業育成に注力

医療機器の分野で日本とタイの橋渡し

- ・ 医療・介護を取り巻く様々な課題を解決

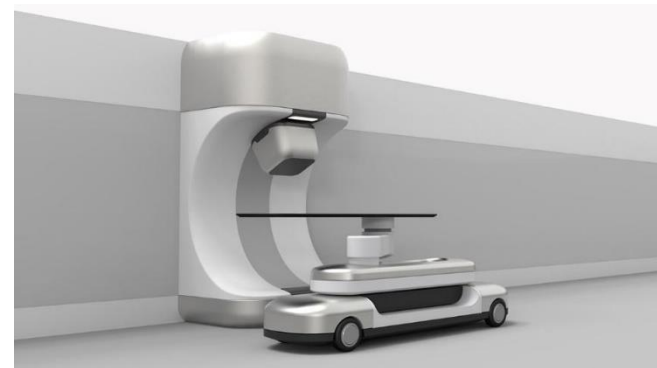


日本の技術やアイデアを用い、
タイ現地での医療機器生産・メンテナンス体制を構築

タイオルバヘルスケアの事業

がん治療センター設立の業務協力

- 国立タマサート大学と陽子粒子線技術を用いたがん治療臨床研究協力の基本合意
- 陽子線がん治療装置開発の(株)ビードットメディカルと販売提携



超小型陽子線がん治療装置のイメージ図
株式会社ビードットメディカル
<https://bdotmed.co.jp/index.html>

薬科機器・医療システムの販売

- 薬科・医療機器開発の(株)タカゾノとタイ王国における正規販売代理店契約を締結
- 散剤分包機・錠剤包装機等の販売を開始



散剤・錠剤分包機
株式会社タカゾノ
<https://www.takazono.co.jp/index.html>

※詳細は、2023年2月7日公表の以下資料をご覧ください。

『THAI OLBA Healthcare Co., Ltd.とタマサート大学病院とのがん治療センター設立に関する業務協力協定締結のお知らせ』

『THAI OLBA Healthcare Co., Ltd.と株式会社タカゾノのタイ王国における正規販売代理店契約締結のお知らせ』

医工連携～医療機器販売業参加型 医工連携モデル～

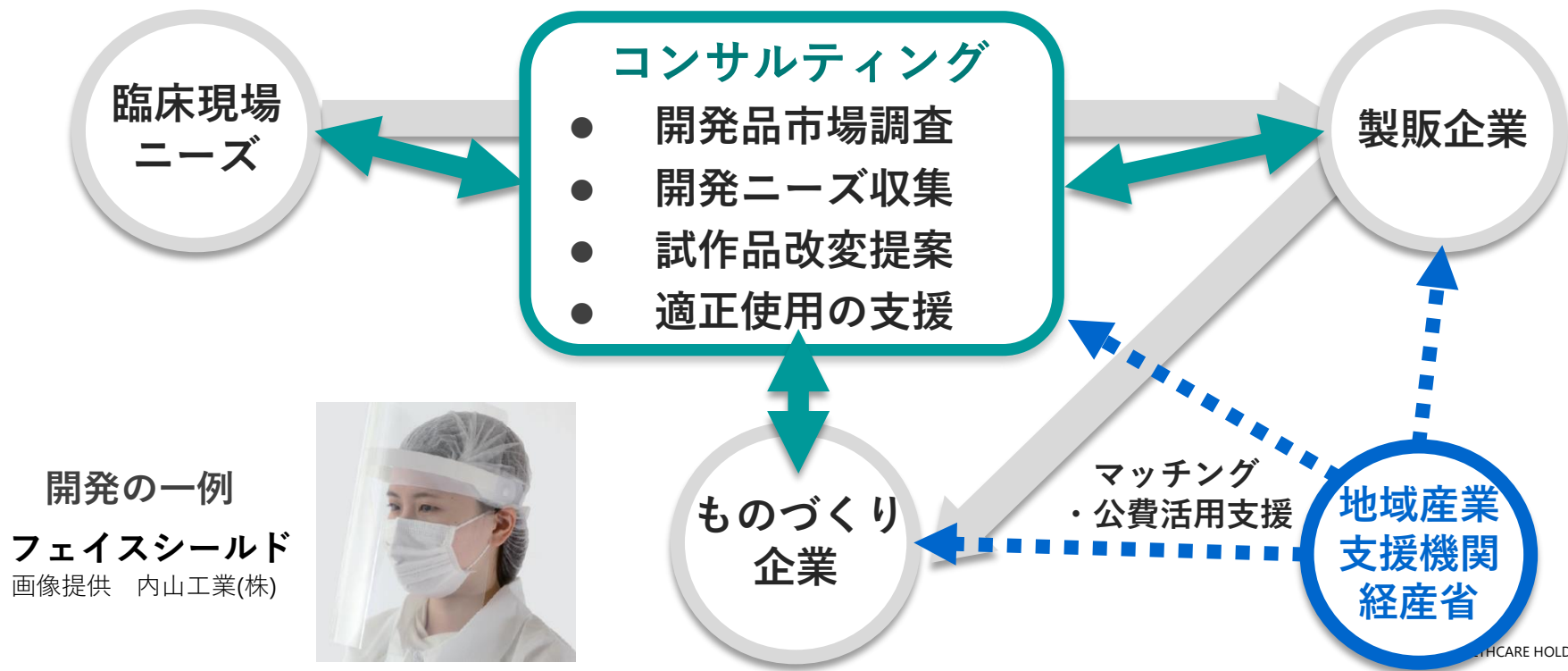
販路機能 豊富な顧客ネットワーク

全国34都道府県の企業・大学・地域産業支援機関等と連携

● AMED事業“HealthTechHub中四国”への参画

研究開発代表者：大原記念倉敷中央医療機構 臨床医学研究所（徳増 裕宣先生）

専門家人材：前島洋平（倉敷中央医療機構 特任フェロー）他



海外の先端医療機器情報誌刊行

海外医療情報誌

Medical Globe

発行：OLBAヘルスケアホールディングス

本誌は、クラリベイト・アナリティクス
ならびにAHC Media LLC.と提携し、
同社の誇る最新のグローバル情報の中
から厳選したコンテンツを、日本語版の
ダイジェストで提供しています。

2010年10月創刊



購読先：医療機器メーカー・医療機関・大手製薬会社・大手シンクタンク

日本医工ものづくりコモンズ MINCの会 「海外医療機器の最新動向勉強会」

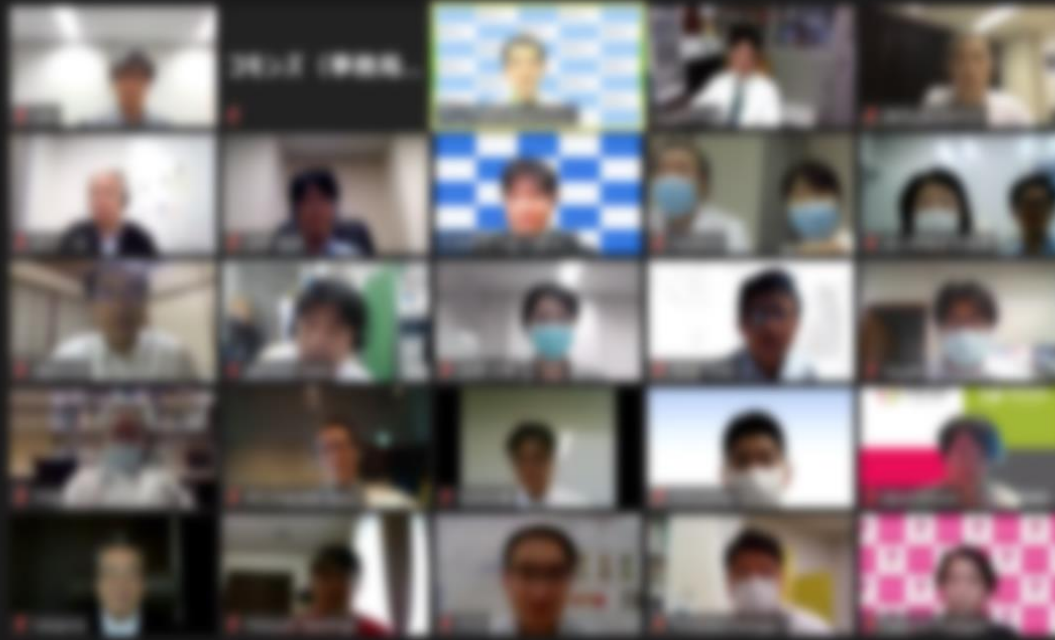
Medical Globeに掲載の

海外の最新医療機器情報について多業種間で情報共有と議論を行う

医師・メーカー・経済産業省・厚生労働省・特許庁・AMED・PMDA・

当社MG編集部が参加、意見交換 〈2017年10月開始〉

第25回：2023年3月実施予定 国立国際医療研究センター・オンライン開催

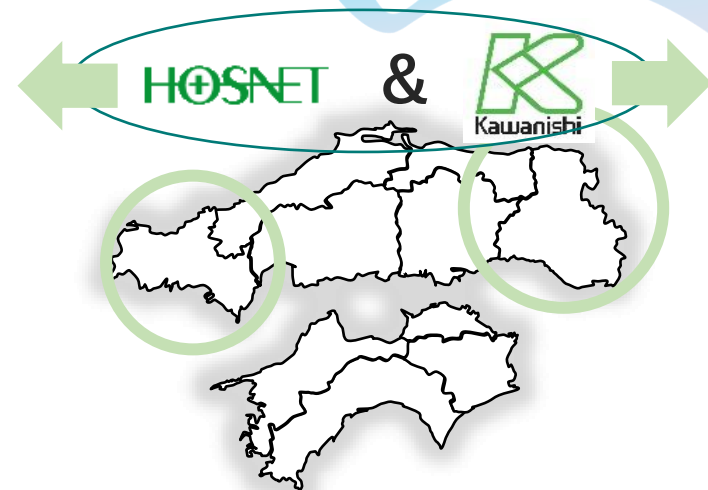


● 院外型SPD拡販計画

- ・ 既存エリアでのシェアアップ
- ・ (株)カワニシと連携し、新たなSPDセンターの出店

● 在庫管理システム「メディリア」の拡販

システム販売の為、広域に販売展開可能



- ・ 中小病院での自主運用タイプ
- ・ 簡単・正確な在庫管理が可能
- ・ 安価な課金制とリモートメンテナンス

**中四国エリアの深耕と
九州・近畿エリアへの拡販**

● 既存エリアのシェアアップ

フォロー体制充実化で顧客サービス強化
リモート営業による迅速なフォロー

● 医療機関との連携強化

在宅介護への円滑な器材供給
レンタル・販売の新規顧客獲得へ

● 介護用住宅リフォームの自社施工

新規利用者の開拓
安心・安全のサービス提供



瀬戸内圏へ追加出店計画中



参考資料



OLBA
HEALTHCARE

つなぐ、人と未来。

会社概要

商 号 オルバヘルスケアホールディングス株式会社
(旧商号 株式会社カワニシホールディングス)

本 社 岡山市北区下石井一丁目1番3号

創 業 1921年 5月

設 立 1967年10月

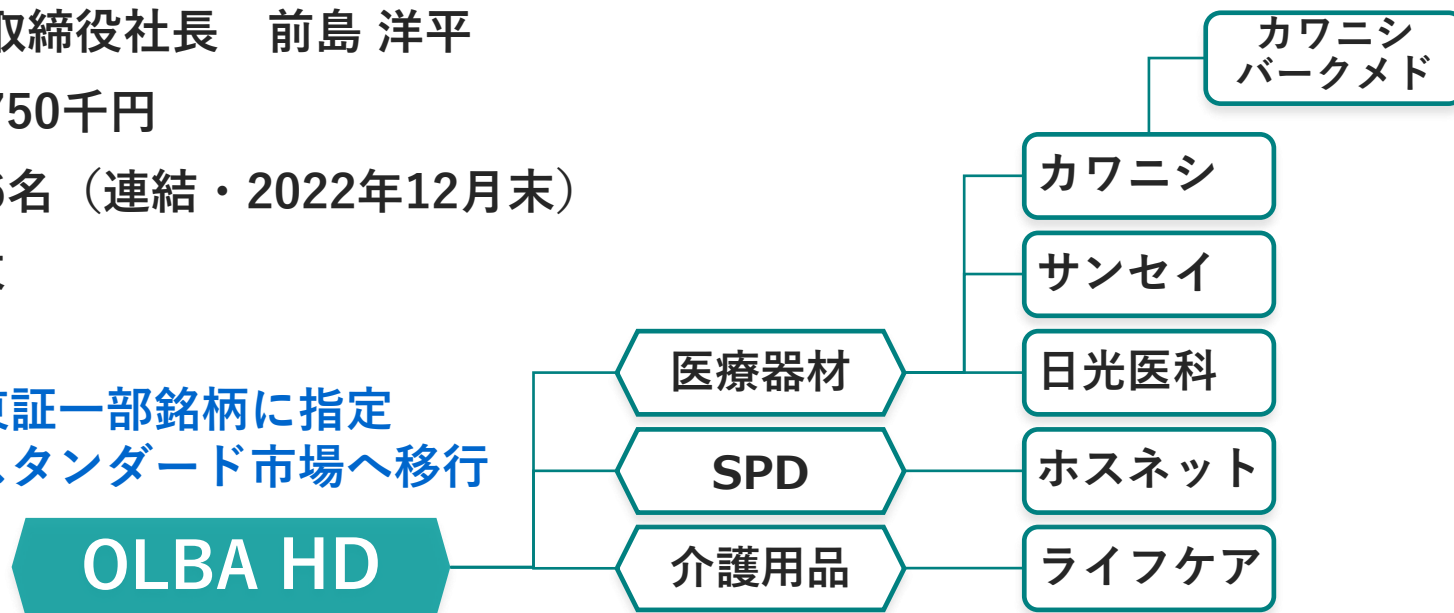
代表者 代表取締役社長 前島 洋平

資本金 607,750千円

従業員 1,286名 (連結・2022年12月末)

決算期 6月末

2020年3月 東証一部銘柄に指定
2022年4月 スタンダード市場へ移行



整形・循環器・手術関連・眼科～介護まで多様な事業ポートフォリオ

沿革

- 1921年5月 岡山市大雲寺町（現在の岡山市北区中央町）に、川西器械店を創業。
- 1927年9月 合資会社川西器械店に改組・設立。
- 1950年6月 有限会社川西器械店に改組・設立。
- 1967年10月 川西医科器機株式会社に改組・設立。
- 1985年10月 株式会社ライフケアを設立。
- 1996年7月 株式会社ホスネット・ジャパンを設立。
- 1999年1月 香川精器株式会社、株式会社四国メディカルアビリティーズと三社合併。
同時に商号を株式会社カワニシに変更。
- 2000年12月 東京証券取引所市場第二部へ上場。
- 2004年1月 営業部門を株式会社カワニシとして新設分社により設立。
同時に商号を株式会社カワニシホールディングスに変更。
- 2005年6月 日光医科器械株式会社の株式を100%取得。
- 2012年1月 サンセイ医機株式会社の株式を100%取得。
- 2014年8月 グループの業容拡大に伴い、岡山市北区下石井一丁目1番3号に本社移転。
- 2016年1月 株式会社エクソーラメディカルを設立。
- 2019年7月 株式会社カワニシバークメドを設立。
- 2020年3月 東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定。
- 2021年1月 創業100周年を記念して、商号をオルバヘルスケアホールディングス株式会社に変更。
- 2022年4月 東京証券取引所の市場区分見直しに伴い、スタンダード市場へ移行。
- 2022年6月 株式会社カワニシバークメドの株式を100%取得

OLBAグループ 社員憲章

事業のあり方

- ビジネスを通じて、医学・医療・介護の発展に貢献し、国民の健康長寿に寄与する
- 革新的な新機能・新技術の恩恵を、患者と医療機関に速やかに適切に提供する
- ステークホルダー（顧客、取引先、社員、地域社会、株主）の皆様に、誠実かつ継続的に価値を提供し、持続可能な経営を追求する
- 業界の内外を問わず積極的に交わり、創造性を育み、グローバルな視点でフロンティアを探求する

組織のあり方

- 人材育成を尊び、「マネジメント（人を通じて事を成す）」に重きをおく
- ダイバーシティを重視し、多様な意見や価値観、働き方を認め合う
- いかなるときも、フェアな競争と取引を心掛ける
- 競争によってもたらされた成果は、新たな価値を創造するために再投資する
- メンバーが心身ともに健康で、貢献意欲を持つことのできる環境を整備する

メンバーのあり方

- 自発的かつ主体的な成長意志を持つ
- 過去の成果に安住せず、謙虚に学び続ける
- 自身の貢献や努力なしに便益を得ようとするフリーライディングを善しとしない
- 社内外のビジネス上のパートナーを尊重し、高い倫理観と誇りをもって業務に臨む

連結貸借対照表 (2023年6月期第2四半期)

百万円

資産	金額	増減
現金・預金	2,646	△543
売上債権	24,406	834
商品	6,150	560
その他	549	△6
流動資産計	33,752	843
有形固定資産	4,254	△50
無形固定資産	746	△68
投資その他資産	1,809	132
固定資産計	6,810	△250
資産合計	40,562	593

負債・純資産	金額	増減
仕入債務	25,746	△281
短期借入金	2,265	2,045
その他	1,339	△1,278
流動負債計	29,351	485
長期借入金	-	△55
その他	1,933	△75
固定負債計	1,933	△75
負債合計	31,285	409
純資産合計	9,277	183
負債純資産合計	40,562	593

※増減は前期末比

1株当たり純資産 1,541.38円

連結キャッシュフロー計算書

百万円		2022年6月期 第2四半期	2023年6月期 第2四半期
税引前利益		782	856
減価償却費		198	234
減損損失		18	-
売上債権の増減額(△は増加)		△3,688	△834
棚卸資産の増減額(△は増加)		△437	△560
仕入債務の増減額(△は減少)		3,236	△281
その他		△975	△1,349
営業キャッシュフロー		△866	△1,934
有形固定資産取得による支出		△235	△98
無形固定資産取得による支出		△65	△41
その他		22	△3
投資キャッシュフロー		△278	△142

連結キャッシュフロー計算書

百万円		2022年6月期 第2四半期	2023年6月期 第2四半期
	短期借入金の純増減額（△は減少）	2,700	2,100
	長期借入金の返済による支出	△110	△110
	自己株式の取得による支出	-	△181
	自己株式の処分による収入	-	175
	配当金の支払額	△309	△367
	その他	△117	△83
財務キャッシュフロー		2,164	1,534
	現金・現金同等物の増減額（△は減少）	1,019	△543
	現金・現金同等物の期首残高	2,110	3,149
現金・現金同等物の期末残高		3,130	2,606

連結経営指標等の推移①

項目	単位	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6
売上高	百万円	97,888	97,998	97,872	102,072	107,959
営業利益	百万円	1,230	1,301	927	1,540	2,073
経常利益	百万円	1,235	1,309	905	1,542	2,119
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	1,054	775	326	989	1,535
純資産	百万円	6,416	6,771	7,281	8,131	9,093
総資産	百万円	33,617	33,772	33,683	36,562	39,968
BPS	円	1,121.32	1,191.62	1,197.17	1,336.91	1,513.91
EPS	円	187.86	138.24	56.76	162.66	252.80
自己資本比率	%	18.7	19.8	21.6	22.2	22.8
ROE	%	18.2	12.0	4.7	12.8	17.8
ROA	%	3.8	3.9	2.7	4.4	5.5
PER	倍	8.42	9.77	23.85	10.17	6.63

※売上高は新収益認識基準を遡って適用した数値

連結経営指標等の推移②

項目	単位	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6
営業CF	百万円	△314	136	862	3,126	2,420
投資CF	百万円	△269	△361	△496	△630	△211
財務CF	百万円	△227	△62	439	△2,262	△1,169
現金及び現金同等物	百万円	1,359	1,070	1,877	2,110	3,149
銀行借入金	百万円	2,061	2,261	2,615	795	275
従業員数	人	1,163	1,189	1,222	1,261	1,289
うち医療器材	人	860	868	892	913	938
うちSPD	人	155	163	171	177	175
うち介護	人	113	122	120	131	135
うち輸入販売	人	2	2	2	-	-
うち本社	人	33	34	37	40	41

※2021/6より、輸入販売事業を除外しています。

会社情報・問い合わせ先

【事業年度】 毎7月1日から翌年6月30日まで

【定時株主総会】 毎年 9 月開催

【上場証券取引所】 東京証券取引所（スタンダード市場）
証券コード 2689

【単元株式数】 100株

【お問い合わせ先】 オルバヘルスケアホールディングス株式会社
常務取締役管理本部長 村田 宣治

info@olba.co.jp

TEL： 086-236-1115

FAX： 086-236-1116

- ・本資料で提供されている情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・資料に掲載された意見や予測は、資料作成時に入手可能な情報に基づく当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についても何ら補償するものではありません。記載された内容が予告無しで変更される場合もあります。
- ・本資料は、当社を理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。投資に関する最終的な意思決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。